省エネ お助け隊

# 株式会社百五総合研究所

支援対象地域：三重県

## 特徴と得意領域（対応可能な再エネ支援：なし）

**三重県を中心とした地域経済・社会の動向把握や地域活性化策の検討・実施業務を行っている。銀行シンクタンクという出自から、資金調達、経営改善、補助金の活用に向けたサポートなど経営分野の支援を得意としているが、数百件の省エネ診断の実績を持つ専門家と連携することで、技術面・経営面をあわせた総合的な支援が可能である。**

➢ 過年度事業参加実績　平成30年度～令和4年度にかけ5箇年参加　延べ支援者数62者

## 過年度事業における支援事例

### ガス乾燥から電気遠赤外線乾燥に変更した省エネルギーとCO2排出量削減

鋳造用耐火物の製造を行っている会社で、省エネ化の支援を過年度からの継続で行った。セラミックスの乾燥工程では、従来ガスで乾燥していたが、エネルギー消費量（年間29.5kℓ、CO2排出量67.7t-CO2）が多かったので、電気遠赤外線乾燥に転換した。
電気遠赤外線は、 エネルギー消費量が年間14.2kl、CO2排出量26.8t-CO2となり、エネルギー消費量を年間15.4kl、CO2排出量40.9t-CO2削減した。また、今までも冷却水ポンプの台数制御、空気圧縮機のインターバル化や焼却炉の空気比調整も行ってきた。翌年度はストレーナー乾燥の遠赤外線化に重点的に取り組む予定。

**エネルギーコスト 280万円/年　削減**

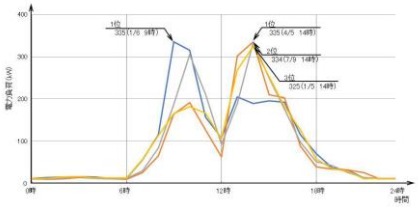
ガス乾燥配置

電気遠赤外線乾燥

### 夜間の電力使用量の調査・削減に提案

年間142klのエネルギーを消費する製造会社からエネルギー使用の現状把握と省エネ化の相談を受けた。診断により、操業時以外（夜間や休日）での電気の夜間負荷が大きく、休日や夜間には10kW以上の電気を消費していた。そこで、次年度は待機電力や不要な機器の稼働状況を調査する。現状から、不要な機器等の電源を切ることで、原油換算9.7kl、CO2削減量は17.5t-CO2になると診断した。今後は、運用改善で夜間電力使用量の削減に加えて、費用は発生するが省エネ効果の大きい設備投資を伴う改善も実現させ省エネ化を推進する。

**エネルギーコスト　66.2万円/年　削減見込み**



電力量

## 事業者概要

- 電話番号：059-228-9105
- 受付時間：10:00～17:00 （平日のみ）
- E-MAIL： chosa@hri105.jp
- 担当者名：安岡、滝川、岡澤

百五総合研究所は、百五銀行のシンクタンクとして、地域経済の健全な発展に資することを目的に1985年に発足。経営支援や情報提供、人材育成支援といった民間企業のコンサルティング業務やPPP/PFI関連業務などを行っている。

### ➢ 事業活用可能ネットワーク

**《自治体》**
- ✓ 三重県 雇用経済部　新産業振興課

**《金融機関》**
- ✓ （株）百五銀行

### ➢ 省エネ関連事業

**《省エネ関連事業》**
- ✓ ISO14001（環境マネジメントシステム）認証取得支援
- ✓ 温室効果ガス排出量算定支援

**《経営関連事業》**
- ✓ 経営計画策定、財務改善等の企業コンサル全般
- ✓ 働き方改革セミナー講師派遣・企業現場への専門家派遣等の支援実績多数
- ✓ 人材育成・マネジメント等の研修実績多数

**支援事例・セミナー情報等の詳細については、WEBサイト「省エネお助け隊ポータル」に掲載されています。**

詳しくは、 省エネお助け隊ポータル 🔍 または https://www.shoene-portal.jp/